

あきた宣言

医療崩壊が叫ばれて久しいが、勤務医をめぐる諸問題がその要因になっていることが広く社会に認められるようになった。医療崩壊をくい止め、地域医療を充実させ、住民が安心して暮らせる社会をつくるには勤務医問題の解決が不可欠である。そのためには何よりも勤務医が果たす役割が重要で、勤務医の積極的大同団結がまず必要である。日本における最大の医師組織である日本医師会がその中心的役割を担うのは必然であり、より一層の組織強化が求められる。

また、現代の医療においては、よりよい勤務環境を構築する上でも、多職種との連携によるチーム医療の推進がより一層求められる。

医学においては新たな知見が日々加わり、医師に求められる知識、技術は広く高度になる一方である。医師は常にその修得に努めなければならない。そのためには充実した卒前・卒後教育が重要である。そして、われわれ勤務医は、自己の研鑽とともに、後進の指導にも努めなければならない。

われわれは、理想的な勤務医であることを目指し、地域医療を充実させる使命を果たすことを誓い、次のとおり宣言する。

一、われわれは、勤務医の不足・偏在、労働環境の改善を図るための施策を行うことを国に求める。

一、われわれは、勤務医問題を解決するため、団結して行動する。

一、われわれは、多職種との連携によるチーム医療を推進する。

一、われわれは、卒前・卒後教育を充実したものとし、自己の研鑽と後進の指導に努める。

平成27年10月24日

全国医師会勤務医部会連絡協議会・秋田